

町民と議会を結ぶ情報誌



議会だより

2005(平成17)年9月1日発行

NO.25・6月議会

住所: 〒903-0220 沖縄県中頭郡西原町字嘉手苅112番地 TEL: 098-945-5005 発行: 西原町議会 編集: 議会広報調査特別委員会 印刷: (株) 尚生堂



グランドゴルフを楽しむ老人クラブの皆様

・ 予算を補正

一般会計 2

特別会計 3

・ 条例の改正 4

・ 完成間近のマリントウン事業

工事請負契約 5

・ 意見書・決議・陳情・要請 6

・ 18名が一般質問 7

今回の表紙題字: 西原町文化協会 書道部会 安谷屋秀翠(啓子)さん

9月定例会の傍聴ご案内 9月15日(木)午前10時 開会予定

詳しい日程
お問い合わせは
議会事務局へ

議員の活動報告



南西石油(株)へ抗議!!

町議会では七月十二日に発生した南西石油(株)の油漏れ事故に関して臨時議会を開会して、抗議決議を全会一致で採決し、議会終了後に出席者十八名全員で南西石油を訪れて社長に決議文を手渡してきました。



南廃協の説明を聞く!

南廃協の最終処分場の五地区への絞り込みに残ったことに関する各市町村議員への説明会に十二名の議員が参加して西原町が候補地に残ったことへの説明を受けて、活発な質疑をしてきました。

編集後記

夏休みも終わり、子供達にとっては新学期になりました。父母の皆さんは通常の生活に戻り、そして休みの疲れが出るころだと思います。子供達も同様ですが、平成17年も年末に向けて、スケジュールが組まれて行くことでしょう。9月は国会議員の選挙が控えています。町議会は9月定例議会が半月ばかり開催されます。国政は衆議院の選挙結果で体制がどのようになるのか地方から注視したいものです。町民の一票を大切にしましょう。……………(大城)

春の叙勲

宮平宗輔元議長 おめでとうございます

宮平宗輔元議長(字与那城168 74歳)が平成17年度春の叙勲で地方自治功労の「旭日双光章」を受章しました。



宮平氏は昭和49年から平成14年までの7期28年間、議会活動に専念し、最後の4年間は議長職に就くなど西原町の発展に多大な貢献をなされました。

特別会計補正予算

高齢化が進行中！

国民健康保険

歳入が歳出に不足し、翌年度の歳入をもって繰上充用する必要が生じた為

- ・歳入・歳出にそれぞれ **5,300万円を追加**

総額 28億4,220万6千円

理由 平成16年度の老人保健拠出金増の為

専決
処分

老人保健

- ・歳入・歳出にそれぞれ **1,356万円を追加**

総額 20億4,031万7千円

介護保険

- ・歳入・歳出にそれぞれ **1,257万1千円を追加**

総額 12億9,991万9千円

土地区画整理事業

- ・歳入・歳出それぞれ **1,349万7千円を追加**

総額 6,803万8千円

※前年度繰越金1,349万7千円の確定による。



公共下水道事業

- ・歳入・歳出にそれぞれ **200万9千円を追加**

総額 6億5,974万5千円

※前年度予算の確定196万9千円がほとんどである。



一般会計補正予算

2億3,332万2千円を減額 総額 84億9,467万8千円

今度の一般会計補正予算の特徴は近年にない2億3千万余円の減額補正となったことです。その主な要因は、国庫支出金（公園費）が次年度へ繰越されたことによるものと、それに連動して、町債が減額されたことです。



● 主な歳入

☆ 繰越金の確定
1億2,060万6千円追加

☆ 諸収入
203万9千円追加

● 主な歳出

☆ 総務費
1,279万1千円追加

☆ 民生費
571万8千円追加

☆ 衛生費
293万7千円追加

☆ 土木費
2億6,929万5千円減額

☆ 教育費
1,309万4千円追加

工事請負契約

東崎公園整備工事(平成18年度の完成予定)

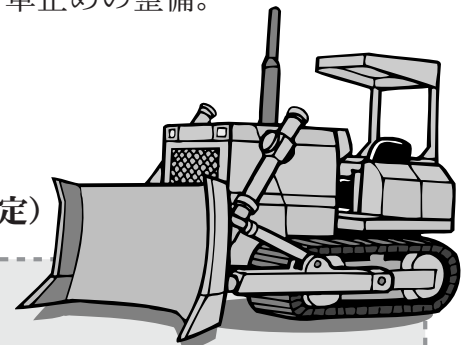
契約金額	1億9,426万円
契約の相手	代表者 三善建設株式会社 (西原町) 構成員 有限会社燕建設 (西原町)
契約の方法	町内18社、町外6社による指名競争入札
工事期間	平成17年7月1日～平成18年1月20日まで

工事の内容

駐車場・前庭・エントランス広場の整備とそれに伴う排水施設、沿路の整備、その他に運動施設としてバスケットコート・足つぼマッサージ道路、便益施設としてベンチ・水飲み場、管理施設としてバックネット・防球フェンス・車止めの整備。

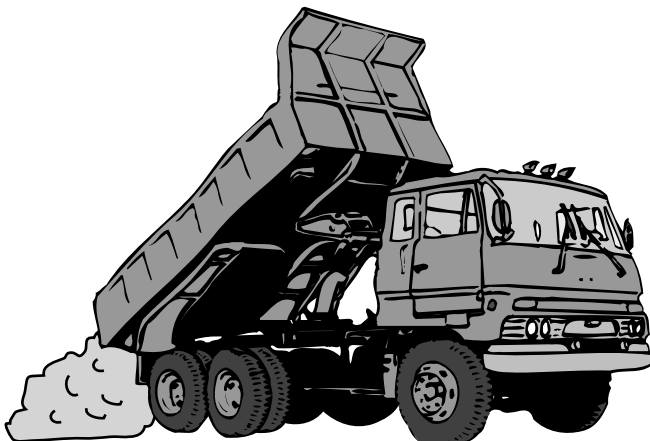
東崎都市緑地整備工事(平成19年度の完成予定)

契約金額	1億3,230万円
契約の相手	代表者 株式会社丸政土建 (西原町) 構成員 オキアス建設株式会社 (西原町)
契約の方法	町内19社、町外5社による指名競争入札
工事期間	平成17年7月1日～平成18年1月20日まで

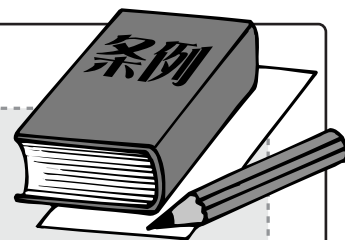


工事の内容

敷地造成・駐車場・ふれあい広場・交流広場・沿路等の整備、便益施設として、水飲み場、管理施設として車止め・門、それらの整備に伴う排水施設の整備。



町税の改正



法律が改正されたことにより、西原町の税条例も改正しなければならないためのもの

改正の主なもの

65才以上の者で125万円以下の所得であれば、非課税だったのが、非課税の範囲から除外し、段階的に廃止するもの。

例

夫婦とも65歳以上の者で、夫の年金が245万円、妻の年金が100万円以下、社会保険の控除が7万3千円とした場合。

平成18年度の課税額は	1/3課税で	所得割 7,900円 + 均等割1,000円 = 8,900円
平成19年度の課税額は	2/3課税で	所得割17,200円 + 均等割2,000円 = 19,200円
平成20年度の課税額は	100%課税で	所得割25,800円 + 均等割3,000円 = 28,800円

となります。

職員の勤務時間の改正

国・県や他の市町村等が週40時間の勤務時間をとっていることを勘案し、これまで本町職員の勤務時間が週38時間45分であったのを国・県・他の市町村と同様の勤務時間に改正するもの。

1週間の勤務時間 38時間45分⇒40時間

1日の勤務時間 7時間45分⇒8時間

※8時30分～5時15分までの勤務時間になる。(9月1日から施行)

臨時
議会
7/15

◇都市型訓練施設の暫定使用に対する抗議決議と意見書

日本政府は、その施設の危険性を認め、「レンジ16」に代替施設を建設し、訓練を移転する事になっている。その一方で暫定的とはいえども同施設を使用して実弾演習が開始されたことは、伊芸区民や金武町民の不安や恐怖を無視し、県民の意思に反するもので、到底容認できるものではない。

よって本町議会は、県民の生命・財産を守る立場から、地元の懸念に対する最大限の配慮を強く要求する。

(あて先) 抗議決議 駐日米国大使、在日米軍司令官、在日米軍沖縄地域調整官、在日米国総領事

意見書 内閣総理大臣、外務大臣、防衛庁長官、防衛施設庁長官、沖縄及び北方対策担当大臣

◇南西石油（株）油漏れ事故に対する抗議決議

7月12日に発生した事故に対し、平成13年、15年に引き続き起きており、たび重なるこのような事故は由々しき問題であるため、設備管理体制、安全対策の強化を強く求めて抗議決議をしました。

◇米兵による女児強制わいせつ事件に関する抗議決議と意見書

(あて先) 抗議決議 駐日米国大使、在日米軍司令官、在日米軍沖縄地域調整官、在日米国総領事、第18航空団司令官

意見書 内閣総理大臣、外務大臣、防衛庁長官、防衛施設庁長官、沖縄及び北方対策担当大臣

一般質問



玉井正幸 議員

◇道州制のねらいは何なのか。
◇導入はいつか。

成長時代が終わり、社会構造を支えていた制度が機能しづらくなっており広域的な行政体制が必要となっている。

地位向上については、国からの権限や財源委譲がなされれば自治権の拡大と共に地位向上につながると思う。単独での道州制については県知事も沖縄は地理的歴史的にも独特であり、他の県とくつつくのは無理があると答えており、単独が望ましいと考えている。経済的問題については制度面でどう変わるか、経済的なメリット、デメリットは国の答申が出てから判断すべきである。研究班の立ち上げについては県も議論を始めたばかりでその動向を見て検討したい。

兼久に進出した南島酒販とはどのような会社か。

この一般質問の内容は、会議録（録音テープ）に基づいて各議員が原稿をまとめ、編集委員会が最終確認をしたものです。

社ができて、素晴らしい環境になり地域も喜んでいて。当社の売上高は、税収は。道を拡張して土地を提供しているが面積は。排水溝や道路整備の費用は当社の負担なのか。将来的に雇用効果もあると思うが。工事中に地域からの苦情はなかったか。

税務課長 売上は年間七八億程度、税収は一、一〇〇万円内外が予想される。

土木課長 道路に寄附した面積は四三坪。排水溝や道路整備も当社負担である。又周辺の溝の清掃やカーブミラーも提供している。苦情は特に聞いてない。

問

沖縄の文化やアイデンティティーからして、沖縄単独での道州制でよいと考える。導入はいつ頃になるか。ねらいは。単独の場合の経済的問題は。沖縄の地位向上につながるか。西原町はどう変わるか。町で研究班を立ち上げてはどうか。

企画財政課長

導入時期は国の地方制度調査会が来年二月に答申を出す予定である。ねらいについては高度

問

台風時にはトタンが飛べ放題で地域から苦情が多かった。その工場あとに当



2級河川小波津川河川改修事業の 早期完成に関する意見書

本町の水系は2流域11河川からなり、その中でも平成14年2月26日に県の2級河川指定を受け、平成29年度完成を目指し、改修工事は着々と進捗している段階にあります。

小波津川は、かつて農林事業等で整備した現況の河川断面では十分な排水機能を確保することができず、大雨の度に氾濫し、地域の住宅地や事業所に多大な被害を与えてきました。特に去る6月15日、17日の2日間においては、平園地域だけで床上10件、床下58件の被害を受け道路冠水による交通障害など西原のまちは終日、パニック状態に陥りました。

この様に、大雨の度に氾濫を繰り返し、町民・県民に生活の不安をもたらしている小波津川に対し、早期完成を目指すよう強く要望いたします。

(あて先)

沖縄県知事 沖縄県議会議長

意見書・決議

文面は要約して掲載してあります。詳細は会議録又はホームページをご覧ください。



小波津川の氾濫

受理された 陳情・要請等

- ◇第35回沖縄県母子寡婦福祉大会の決議の実現に関する要請
- ◇「155ミリ榴弾砲」設置場所について(要請)
- ◇義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書採択に関する陳情
- ◇地域経済の活性化と地域給与制度に反対する意見書の採択について(陳情)
- ◇定率減税の半減・廃止の中止を求める意見書の採択について(陳情)
- ◇地方の財政力を強化し、義務教育費国庫負担制度を維持することについて国への意見書提出を求める陳情書
- ◇分権時代の新しい地方議会制度の構築を求める意見書の採択・提出について



仲宗根健仁 議員

◇平和行政について
◇まちづくりについて
◇サービス残業について

問

幸地で発見された一五五ミリ榴弾砲の設置場所は変更の余地はないか？

町長

町民の代表である皆様方の審議を経て決定をさせてもらった。町の遺族会とも協議を行い、賛同も得ている。更に商工団体からの協力要請を受けている。変更は全く考えていません。

問

自治体とNPOとの協働に関して全国で既に様々な取り組みが展開されている。今後は協働の推進が急務と考えるか？

企画財政課長

NPOと行政は異なる性質を持ちながらも公共性という共通した

基盤の上で対等な立場で両者が連携協働していくことにより、サービスの向上が期待できる。NPOに対する認識が勉強不足であり、どういった業務があり、どの業務を委託できるか個別のケースも踏まえながら活用する方向で検討したい。

問

行政等が規制の設定や改廃をする時、原案を住民に公表し、意見を求めそれを考慮して決定するパブリックコメント制度を導入する考えはないか？

企画財政課長

これからは自治体間競争の時代と言われているので、住民の英知を集めた町政運営が求められている。今、県と那覇市が要綱を制定しているが、町としても導入できるかどうか充分勉強して検討したい。

問

サービス残業は労基法違反であるにもかかわらず雇用リストラや成果主義の導入が進む中で不払い残業が蔓延している現状。連合が組合員に行なった実態調査でも二人に一人が不払い残業をしていることが明らかになった。我が西原町での実態はどうか？

総務課長

職員の健康面を考慮して月四〇時間以下を

目安にしている。超勤の手当でも年間確保し、サービス残業はないと見ている。それ以上は認めないと言われても残業しない仕事がある。土木関連の職場を見ていると、殆んど毎日夜中まで電気が点いている。調べた上での答弁か？

問

各課、超勤の度合いによって配分している。超勤が多い人に多く配分している。配分が多い職員である。そうすると健康上おかしくなりませんか？労基法にも触れませんか？

総務課長

職員の不補充、人件費の減等、大変厳しい状況にある中、知恵を出し合っ

問

て事務事業の見直しと改革を進める必要がある。

助役

津花波・上原線と内間・小橋川線が交差する地点の道路は西原東小学校への通学路の一ヶ所になっているが優先道路の表示がなく、また、停止線表示が

津花波・上原線と内間・小橋川線が交差する地点の道路は西原東小学校への通学路の一ヶ所になっているが優先道路の表示がなく、また、停止線表示が



◇津花波、小橋川の交通安全対策は
◇教育問題の対策をどう講じる



有田 力 議員

問

津花波・上原線と内間・小橋川線が交差する地点の道路は西原東小学校への通学路の一ヶ所になっているが優先道路の表示がなく、また、停止線表示が

津花波・上原線と内間・小橋川線が交差する地点の道路は西原東小学校への通学路の一ヶ所になっているが優先道路の表示がなく、また、停止線表示が

土木課長

県交通規制課と協議を行い、停止線線引きは早急に対処したい。時期については平成十七年十二月中を予定したい。

問

通園および退園の安全確保面から、小川保育園前道路に徐行運転標識設置や一時停止の路面表示を

通園および退園の安全確保面から、小川保育園前道路に徐行運転標識設置や一時停止の路面表示を

問

小橋川・上原線道路で幅員が狭くカーブとなっている地点にカーブミラーの設置をすべきでは？

土木課長

当該地点にカーブミラーの必要性は感じております。カーブミラー設置は要請が多く、危険度の高いところから優先的にかつ、予算を考慮しながら対応しており設置時期は明確に答えられません。

問

個人情報保護法が全面施行されたが学校現場における対応指導をどのようにしたのか。問題点は？

学校教育課長

本町は平成十二年より施行しております。学校現場も適用しております。平成十七年四月からの法律施行に伴う指導はしております。条例制定にあわせ保護対策はきっちりやられていてと考えております。問題点というのは特にありません。

問

教職員評価制度は平成十六年度に管理職を試

行実施、十七年度から本格実施されております。一般教職員評価は平成十七年度

行実施、十七年度から本格実施されております。一般教職員評価は平成十七年度試験実施、十八年度本格実施となるが学校現場への説明はされたのか。現場の理解は得られたのか。十六年度試験実施の管理職評価はどうか。問題点はないか。

教育長

現場への説明は教育事務所が実施し教育委員会はしておりません。管理職評価試験実施の結果はまとまっています。問題点を校長先生から聞いたところ、大きな抵抗はないということ。教職員組合からは正当な評価ができるようにとの要請を受けております。又、現場が混乱していることはないと思います。





宮城秀功 議員

- ◆住環境の整備について
- ◆西地区整理事業について
- ◆産廃について

西地区の区画整理事業について

問 この事業は定例会の毎に進展のきざしが見えてこない。それは県道二九号線との絡みがあると聞いていますが現状はどうなっているか伺いたい。

区画整備課長 西地区の整備事業は平成十八年度新規事業として県に要望しており県道北中城線の四車線の問題は坂田交差点の平面交差と立体交差の選定が重要な要因となっております、町と

して平面タッチで県と調整をして区画整理事業と県道那覇北中城線は平成十八年度の三月に都市計画決定の予定であります。

問 棚原にある産廃業者が出した被害者の救済について

この問題は一步前進しているが、今は事務的な詰めに入っている。しかしそこから前に進んでいないような感がありますが、何がネックになっていきますか伺いたい。

健康衛生課長 事務調整会議の中で考える会から要望があった北里研究所病院は直接病院へ出向いて依頼したが、検査技師が少ない事又は検査道具の移動が不可能と言う事で診察は無理との回答がありました。が病院からは関西労働病院や関東労災病院又は九州の病院の紹介がありました。が、一番ネックは北里大学病院に断られた事です。

助役 北里大学病院の方の調査が断られ、この問題については非常に厳しくなってきた感じがしています。考える会から次の医師の紹介もありましたが専門医の問題の前にアンケートが重要視

されている状況で、又環境調査等も断られ原因がどこなのかが一番重要な問題であり今後も一貫した考え方で検討し十分吟味しながら進めて行きたいと考えています。



◆地域の防犯防災と「まちづくり条例」の制定について



大城純孝 議員

問 小波津川の河川整備についての進捗状況を伺います。

土木課長 小波津川整備事業は県で平成十五年度に事業化され調査測量設計業務が十七年三月に完了しています。平成十六年三月から十一月まで「小波津川づくり協議会」が四回開催されています。十七年度の県河川課の事業は集中豪雨のたびに水害に見舞われる平川区周辺及び国道三二九号の治水対策を優先する為用地の補償を予定しています。進展によっては予算の増も可能になります。又平成十

六年度までの進捗率は約二・六%となっております。

問 今度の集中豪雨の被害状況はどうなっていますか。

総務課長 六月十四日〜十七日までの集中豪雨の被害状況につきましては、平園、小波津、兼久、小那覇で床上浸水七件、床下浸水四十件となっております。又、都パレスの方で道路陥没、沖繩カントリーの方でがけ崩れ、小那覇の工業地域で道路のかん水が有りました。対策としては、土木・総務課で現地対応をしています。小波津川関連事業として、治水事業を優先に県にお願いをしている状況であります。

問 一戸一灯運動で防犯をすすめるべきだと思えますがどうでしょうか。

総務課長 一戸一灯は現在も推進中ですが取り組みが弱体化していますので町の防災計画に基づいて対処したいと考えています。

問 国保・介護・老人保険の今後の見込みについて伺います。

保険課長 医療費については年々増大していくものと推測されており本町も将来危機的状況になると感じて

います。介護保険につきましては今年中に健全な事業運営が出来るよう保険料額の決定をする予定です。

問 「まちづくり条例」を「つくり住民参加型の行政を推進すべきだと思えますが、伺います。

企画財政課長 これからは住民と行政が知恵と力を出し合う共同の町づくりが重要だと考えております。町の総合計画も踏まえて内部で検討していきたいと思えます。





屋宜宣太郎 議員

◇青少年健全育成について
◇155ミリ榴弾砲について

問

青いランプのパトローラーは地域の防犯あるいは不審者に対するパトロール等はもちろんです。それよりも青少年健全育成にも役立てる運行が出来ることと思いますが青ランプのミニパトローラーの運行は考えておりませんか。

総務課長

青色回転灯のパトローラーでございますが回転灯は視認性が高まり住民の安心感または犯罪を与える人に抑止効果があるという面ではマグネット式で防犯活動やっているものより効果があると考えております。今後予算とも検討しながら

問

回転灯の設置ができないのか検討していきたい。西原町字幸地から発掘された一五五ミリ榴弾砲はわずかに原形あるのみで榴弾砲修復業務委託料としての一三八万九〇〇〇円でどれほどの修復、復元ができるのか。

町長

完全に修復し元の形に戻すには二〇〇〇万円かかるそうです。完全に修復しようとは考えておりません。一三九万八〇〇〇円の範囲内でできる修復をさせていただきます。

問

死の道具として使用されたスクラップの状態の榴弾砲が平和のシンボル白い館の図書館になぜ設置するのかお尋ねいたします。

町長

三月の施政方針で示したとおり平和事業に活用したいというふうな形です。したとおり当初の予定どうり仕事を進めてまいりたいと思いますので御理解のほど賜りたいと思います。

問

草木を肥料に再利用する。一般家庭から排出される草木、小枝等がゴミとして焼却処分されているが資源として回収し、チップ状に移す施設の建設計画はないか？

健康衛生課長

平成十六年十二月八日にシルバー人材センターから町とその議会の方に緑のリサイクル事業の取り組みについて要請がきております。当然健康衛生課としても事業化できないものかと資料集めをしております。新年度で財政課と調整しその分、減量化できる大きな実績になると考えています。

問

焼却している現状での年間経費はどのくらいなっておりますか。

健康衛生課長

東部清掃の資料からすると平成十六年度で三四トンで七〇〇万円です。土木課、都計課から草木等はかねひでグリーンさんで処分されており、百四十トンで約百万円です。



呉屋 實 議員

◇行政対象暴力について
◇自動体外式除細動器の導入について

問

二〇〇一年に本土のある都市で、市役所職員が暴力的不法勢力に被害された事件は社会に強い衝撃を与えた。この事件は不法廃棄物処理業者に対して毅然と対応した担当職員が被害にあったケースです。この事件を契機に今、全国的に行政対象暴力に対する危機と関心が高まっている。そこで本町の取り組み、対応マニュアル、内部の連携プレイイ構築、過去の状況また警察との連携強化の締結はどうなっているか。

総務課長

対応マニュアルは平成十六年十二月に西原

問

自動体外式除細動器の導入と取り扱い講習会の時期について伺いたい。

総務課長

最近では公共施設、ショッピングセンター等に年々需要が高まっている。東部消防においても講習会を実施しており、除細動器の導入普及にむけて努力している。一機あたり五〇万〜八〇万の費用がかかります。予算等を含め検討します。

問

図書館前広場に大砲の残骸を当局は設置準備を進めており、非常に残念に思います。設置場所の変更を切に願うものですが、町長の考えと、また故比嘉春潮先生顕彰碑の建立活動についても伺いたい。

町長

議員からは残骸かも知れませんが私は残骸とは思っていません。比嘉春潮氏顕彰碑建立の趣旨には否

定的ではなく賛同し顧問も内諾した。ただ顕彰碑と榴弾砲の設置場所を取り違えていては何も解決しない。何度も同じ榴弾砲の問題が出てまいります。大里村のカノン砲の設置はそのよさがあって、西原町の榴弾砲はさびて原型もなく激戦の跡がうかがえ、それなりに値打ちがあるかと考えています。





大城好弘 議員

◇町民参加型のまちづくり ◇ボランティア活動が活発に!

問 金秀小波津給油所交差点、中央公民館入口、西原ハイソウ入口等の個人によりミニ庭園の作庭、花壇造り、小中学校では一六八名ボランティア委嘱状の交付、小波津川の清掃作業一〇〇名参加、シルバーや各種団体の多く町民がボランティア活動に参加し、活発な活動が展開されて居ります。新垣町長は町民参加型のまちづくりを推進方針であります。町民の声、意見を集約する諮問委員を立上げるべきと思うが。

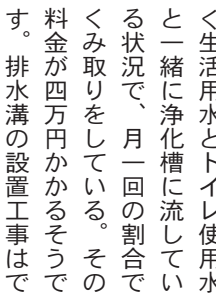
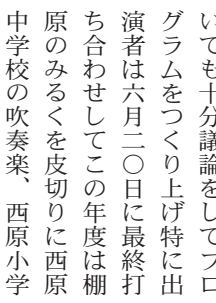
問 最近町役場が明るくなったという町民から声が多く聞かえてきます。本年四月より新設したすぐやる課の町民の声や、実績等について、進捗をお聞きします。

問 今回教育長は一六八名のボランティアに委嘱状を交付して居りますが、その効果とねらいについてお聞きします。

問 第十五回西原町平和音楽祭等の実施計画(内容)はどうなっているか!

問 字幸地九三番地の山本氏住宅は排水溝が少なく生活用水とトイレ使用水と一緒に浄化槽に流している状況で、月一回の割合でくみ取りをしている。その料金が四万円かかるそうです。排水溝の設置工事はず

問 山本氏宅の排水溝の件は今関係の土木課長としてすぐやる課の課長からご報告があったとおりでございます。しかし議員が直接うちのすぐやる課の課長を伴って現地を調査し現状を把握している姿を写真で見てもまた文書で報告をいた



お聞きします。文教のまちづくりを宣言してはいますがその中身が目に見えるかたちで今年度は五つの柱を設けて居ります。一、二学期制の取り組み、二、町三役、教育委員による学校訪問と給食交流、四、文教のまち高齢者学級、五、委嘱状の交付であります。委嘱状の交付は、地域人材を生かした、ボランティアの賜物であり一堂に会しセレモニーをもって教育長から直接一人一人に交付することによって、より自覚と緊張感をもってその任務に精励することを目的に実施して居ります。

第十五回西原町平和音楽祭等の実施計画(内容)はどうなっているか! 総務課長 今年最終六〇年という節目の年に当たっておりまして内容についても実行委員会をつくり各団体の意見を取り入れて町としての手づくりの平和音楽祭を開催しようということ。四月二六日から五回の実行委員会を開催し内容についても十分議論をしてプログラムをつくり上げ特に出演者は六月二〇日に最終打ち合わせしてこの年度は柵原のみるくを皮切りに西原中学校の吹奏楽、西原小学

校とコール西原による合唱西原高校のマーチングバンド、県営西原団地自治会の舞臺琉太鼓、県指定保持者の山田多津子さんの奉納舞踊、西原町文化協会民謡部会の鎮魂の歌、沖繩交響楽団の演奏、小那覇青年会のエイサー、最後にフィナーレとしてカチャーシーで終る予定です。

字幸地九三番地の山本氏住宅は排水溝が少なく生活用水とトイレ使用水と一緒に浄化槽に流している状況で、月一回の割合でくみ取りをしている。その料金が四万円かかるそうです。排水溝の設置工事はず

きないかお伺い致します。すぐやる課長 この場所は石嶺団地と西原町の境界の所でブロック壁のすぐ下の方に側溝があるので那覇市の方調整してみたいと思います。

山本氏宅の排水溝の件は今関係の土木課長としてすぐやる課の課長からご報告があったとおりでございます。しかし議員が直接うちのすぐやる課の課長を伴って現地を調査し現状を把握している姿を写真で見てもまた文書で報告をいた

これまで町の平和音楽祭を育てていただき、また御努力をいただきました。言うことで失礼になってはと御本人に直接お会いしてこれまでの取り組み御努力に

これまで町の平和音楽祭を育てていただき、また御努力をいただきました。言うことで失礼になってはと御本人に直接お会いしてこれまでの取り組み御努力に



伊川幸子 議員

◇バレーボールで まち興し宣言を！ ◇地域公民館文庫と B M車

問 西原町はバレーボールの盛んな町です。今年の中体連で男子は東中学校が、女子は西原中学校が優勝しました。西原高校では男子バレーが強く、小学生のバレーも強い町です。いまの社会現象として明るくない情報が以前より多いような状況の今日この頃、青少年や町民に活力あるまちづくりに参加してもらうため、歴史や伝統があり、そして身近にある「バレーボールでまち興し宣言」をしてはどうでしょうか。

教育長 西原町はバレーボールの競技力が非常に高い地域で、これをもつと意識つけてバレーボールのみならず相乗効果をねらい、ほかの競技も町全体の活性化で何らかの形をとれないかと思いついたのがバレーボールです。十一月頃のバレーボール祭りの場で「バレーボールのまち西原」を宣言し町や子供たちに夢と活気を考えています。

問 平成八年三月地域公民館文庫が設置され今日に至っています。昨年八月に町立図書館が開館してから地域公民館文庫の利用が減り、その使命は終わっていったかのように思われているようですが、現在何行政区で実施(実績報告書提出区)されていますか。また地域公民館文庫の活性化と図書館から離れている住民が図書館に親しむ機会を得るというサービスの面から早く目にB M車の導入を図って欲しいのですが。

生涯学習課長 地域公民館文庫は自治公民館の活性化を図り、住民が図書に親しむ機会を提供することを目的に実施して参りました。活用状況は三十行政区中九行政区の活用で厳しい状況です。移動図書館(B M車)

問 地域公民館文庫はこれから継続して欲しいと考えます。なぜなら文庫も図書館も共通して願うところは子供たちや地域の人々によりよい読書環境を提供する目的があるからです。

生涯学習課長 今後においては自治会と町立図書館が連携して地域公民館文庫の充実を図るために、今後とも何らかの形で検討していきたいと思えます。

問 町補助金審査委員会により審査された平成十五年度の補助金受給団体の審査結果の答申を受けた後の対策とまた平成十六年度の補助金受給団体の審査計画はどうなっているか。

問 町補助金審査委員会に
より審査された平成十五年度の補助金受給団体の審査結果の答申を受けた後の対策とまた平成十六年度の補助金受給団体の審査計画はどうなっているか。

◇行財政改革は ◇補助金審査は ◇小規模授産施設は ◇財務規則の収録は



城間義光 議員

問 三月定例会に町行財政改革検討委員会を立ち上げる旨の答弁がありましたが、その後の進捗状況について、設置の時期、委員の構成及び人数、検討する内容、諮問答申の時期などについて伺う。二重、三重の経費をかけないで、現在ある町行政改革推進委員会を活用すべきであると提言したが、町長が考えている検討委員会とどのように違うのか。

助役 町行財政改革検討委員会は、現在ある行政改革推進委員会の中で十分検討していきたい。

問 町補助金審査委員会に
より審査された平成十五年度の補助金受給団体の審査結果の答申を受けた後の対策とまた平成十六年度の補助金受給団体の審査計画はどうなっているか。

問 町補助金審査委員会に
より審査された平成十五年度の補助金受給団体の審査結果の答申を受けた後の対策とまた平成十六年度の補助金受給団体の審査計画はどうなっているか。





呉屋吉則 議員

◇図書館前への大砲設置の再考を。 ◇障害児の普通学校への受け入れ準備。

問

町長は平和行政を優先したいと言いつつ、図書館前に旧日本軍の兵器(一五五ミリ榴弾砲)を設置するということだが、果して

町民の平和意識の高揚が図れるだろうか。逆に戦争賛美につながるはしないか、私は大変危惧している。図書館と大砲は絶対に調和しないとと思う。それでも町長は大砲を設置する考えですか。

町長 軍国主義に利用されるという危惧は全く持つておりません。大砲と図書館は直接の結びつきはありませんが、資料として、平和

事業に活用できるように、この榴弾砲の設置を考えており、それなりの説明や管理をさせたい。

問

今年四月、一人の障害児が初めて町立小学校に入学している。その経緯と行政側の条件整備はどうなっているか。

学校教育課長 町心身障害児生徒就学指導委員会では肢体不自由・車椅子利用のため、養護学校が相当であると判定。保護者は通常学級での就学を希望だったので、教育委員会が町立小学校への入学を決定しました。当局は肢体不自由用の椅子の設置や玄関・教室入口の段差解消、トイレ内のペリー自在水洗の取りつけ等の整備をしました。

問

今後予想される学習効果としてどんなことが考えられるか。現在直面している課題はないか。

学校教育課長 幼稚園で一緒だった児童たちと共に学ぶことは本人によい結果をもたらし、また不自由ながらも健常児たちと集団生活することによって鍛えられるのではないかと考えられます。ヘルパーの配置や新たにエレベーターの設置、

障害児用トイレの増設が改善すべき点だと受けとめております。

問

当該児童は一学期間よく頑張ったけれど、親が毎日つきっきりのため、負担が重なるということ。二学期から設備の整っている県外の普通学校への転校を決めているようである。

学校教育課長 受け入れ体制については万全でないので持ち帰り検討したい。財政上の問題はありますが、その必要性は感じておりますので、障害児教育基本方針を策定することは今後必要であろうと考えております。



◇夏休みの図書館開館時間は9時に改定を ◇必要でしょうか? 図書館前への大砲



伊礼一美 議員

問

夏休み期間中の図書館の開館時間を9時に早める考えは。

生涯学習課長 現体制では午前九時開館はきびしい。おとなりの那覇市はすべての市立図書館が夏休みは九時開館だ。

問

現場の意見も聞き要望に応えたい。

誰が芝生を剥ぎ取った

問 図書館前広場の芝生が七・五平方メートル剥ぎ取られているが。

生涯学習課長 百五十五ミリ榴弾砲(旧日本軍の大砲)

の設置場所にするために芝生を剥ぎ取った。

町長 図書館前広場に大砲設置のための工事着工の準備が進められていたので五月十七日、図書館長や図書館職員、関係課の皆さんや台座を作っていた方と現場を確認して、必要な所に芝生を取ってもらった。

問

図書館前に大砲を設置する理由は。

町長 幸地部落の建築現場から大砲が掘り出されたのを見て、西原町の平和事業や平和教育に活用できないかと考えた。三月議会の施政方針にも載せて、予算も計上し、議会でも議論していただき図書館前と決めてもらった。

問 どうして大砲の設置が平和意識の高揚につながるのか。

町長 見る人の感じ、とらえ方によって違うと思う。



私は生きた教材として、本物である大砲は平和事業に貢献するものと認識する。兵器は子供に悪影響

本当に大砲という兵器が平和学習の教材、資料になり得ると考えるのか。兵器というのはコスト論を展開することになって、つまり一つの爆弾、砲弾がどれだけの殺傷能力があるのかの論議に流れがちだ。思考力の弱い子どもたちが戦争に一番近い大砲を見せることは悪い影響を与えかねない。大砲設置計画の撤回を強く要求する。



新田宗信 議員

◇地産地消の切っ掛けは、情報の公開から！

問

地産地消についての取り組みと現状を求む。

産業課長

取り組みとしては普及事業連絡協議会を中心として、毎年二回三月と十二月にふれあい市、同じく同生活研究会を中心に、毎週水曜日と土曜日の朝に朝市を開催しております。それから、最近では『太陽の会』の皆さんが中心となり、町内の野菜農家からゴーヤーやキャベツを仕入れて、役場前で販売も行ってます。

産業課長

学校給食の材料としての活用方法はないか。給食センターと

のタイアップ等も取り組みなければならぬと感じてます。

食育と義務教育

問

食育について国会でも審議中ですが、お昼時間における休憩時間を昼寝時間として、しっかり仮眠を取る事により、午後の学習能力の向上にうまく活用出来ないか。

教育長

問

台湾では、自分の机でうつぶせになって寝ていて、それが習慣づけて小さい頃から行われ、学習能力の向上にもつながっているとの事ですが、同様な事が出来ないかどうか。

教育長

自席でのうつぶせ状態での仮眠の取り方ならば、進められると思います。

乳幼児の医療費助成について

問

これまでも、医療費の助成については、現物給付が出来ないか等、伺ってまいりましたが、視点を変えて伺いますが、保険料

の未納者の中で乳幼児における医療費助成は、ありえるのか。

保険課長

保険加入者の未納世帯で満五才までの乳幼児の世帯は百六十九世帯で本手帳の発行はされてません。又加入者五千八百二十九世帯の内七割、五割、二割軽減を受けている世帯は三千六百六十四世帯あり六十%超えていますので百六十九世帯の中にもこの軽減を受けている世帯があると思っております。そこで保険手帳がない場合の救済措置としては、現状では、制度的には無いと言っているかと思えます。

◇行政コストの削減と環境行政、ごみ、リサイクル、問題の更なる推進を



富 春治 議員

問

西原町の職員定数管理適正化計画の中長期シミュレーションについて伺う。

総務課長

先ほど職員の適正化計画につきましては訂正したいと思えます。十七年度までの定数が二百三十七名に対し職員数が二百二十四名ということでマイナス十三名の減です。中長期シミュレーションにおいて臨時職員の対応等があるわけですが、適正化計画の中で職員増というものを抑制をするという意味での大きなねらいがございますのでまた定数抑制のための臨時

職員また嘱託職員を活用していく。さらにまた、あるいはまた家庭奉仕員社会福祉協議会の派遣職員等を民間に委託していくという見直し案でございます。

問

環境行政の最重要課題と思慮されるリサイクルプラザの設立計画はどのようになっておるか伺う。

健康衛生課長

平成十三年度から毎年積立てをしております。これはリサイクルプラザ施設のための基金であります。平成十七年度においては南廃協の負担金が大きくてそういう形で積立てをしております。ぜひ、その積立てを早目にこれだけのほんとの利用ができるようリサイクルプラザ施設が町民からいい設備をつくったなというぜひそういう設備を検討していきたいというふうに考えております。

町長

先ほど富議員からこんな発言をして私もジーンときました。地球環境は我々のもではない、未来の子供たちからの預かりものである。それから今日は資材食料だが明日はごみというふうな発言もありました。消費社会がいつまでも続く

わけがありませんので町としましても今、課長が答弁をしたように少しずつではあります。準備を着々と進めておりますので、時期を見計らいまして、ごみの減量化につながる重要な施設であるというふうに認識をしておりますので、関係課ともじっくり相談しながら前向きに建設の方向で努力をしております。というふうに考えております。





山本信子 議員

◇前町長 待機児童の解消に向け、計画的に一生懸命がんばってきた

何人かの議員の厳しい質問等があったように思いますが、町政が変わったがこれまでの議員等の質問からおして、又施政方針の中で解消を図ると言われたが認可外保育園の認可化への移行がスムーズにできるとお考えか。

福祉課長 解消として既設園の分園による対応、公立保育所の定員増、認可化については、待機児童の動向を見て検討したい。

問 すばらしい西原町次世代育成支援行動計画が策定された。その中で待機児童の解消としての施策もあるが、これまで前町長町長、前寄川福祉課長は解消に向けて、四園の定員の変更、保育時間の延長、幼稚園の二年保育、保育所の分園の整備、認可外保育園の認可化等、いろんな手だて模索をしながら、計画的に大変頑張ったとこられたと思います。供給が必要を生むと言われる中で、待機児童をゼロにするというのは、なかなか難しいだろうと思

います。しかしこれまで

町長 一園は既に十五年度に認可済、後一園は制度的な法律的なものがクリアされていらない。クリアされ次第検討したい。

問 認可外保育園に通う児童の処遇について、特色ある保育運営をする為の英語教育への講師派遣がでないか。

福祉課長 必要があれば検討していきたい。

問 これまで前町長は予算の厳しい中町単独で、保育料、行事料、ミルク代等を補助していたが、その外に事業の芽出しがあるか又、認可外保育園への支援強化をする公約されたが補助金が減になっている理由は？



福祉課長 先程の講師派遣等の問題も含めて検討したい。補助金の減は園児数の動向もあると。

問 幼保一元化に対応できる総合施設があるが、待機児童の解消として視野に入っているか。

福祉課長 平成二十一年度時点で待機児童が八四〇名を想定している。総合施設も視野に入っている。

問 町長に答えていただきたい。指定保育所を含めた認可外保育園の支援をと公約されたが。

町長 認可にかなわない部分について、指定の制度をとり補助支援をした。

総務課長 警視庁では地域住民が安心して暮らせるまちづくりの施策の一環として事件・事故が発生した時

に緊急通報ボタンを押すと、赤色灯が回転し周囲に緊急事態の発生を知らせ、カメラが作動し、現場の状況が警察に映像が送られ、いち早く駆けつける事ができます。県内では沖縄市と西原町では、スーパー防犯灯と機能的には同じですが、カメラが設置されていないという事で子供の緊急通報装置が、平成十四年度、七基約一五五〇万円、全額国庫負担となっております。

問 犯罪の予防と被害の未然防止に効果を発揮している、スーパー防犯灯は東京都では二〇〇一年からこれまでに八地域で、計一〇九基が設置されています。地域住民にも、昼も夜も安心して歩けるようになり子供たちが塾で遅くなっても心強いと好評です。

問 道路バスなど、交通手段が不便で従来対応できていなかった障害者や高齢者など交通弱者、交通不便地域の日常的な地域の交通需要に答えるために主に自治体が主体となって比較的小型で小回りのきくバスを使って運行しているコミュニティバスは、居住地域と役所などの主要施設を運行し、利用客の利便性を考え、さまざまな工夫がされています。例えば料金はワンコイン百円であるとか、高齢者に配慮し、文字が大きく見やすく表示したバス停の標識、補助ステップをつけた底床バスの運行、中心市街地の活性化を図るために商店街の中に運行ル

◇スーパー防犯灯について ◇コミュニティバスの導入を！



長浜ひろみ 議員

に緊急通報ボタンを押すと、赤色灯が回転し周囲に緊急事態の発生を知らせ、カメラが作動し、現場の状況が警察に映像が送られ、いち早く駆けつける事ができます。県内では沖縄市と西原町では、スーパー防犯灯と機能的には同じですが、カメラが設置されていないという事で子供の緊急通報装置が、平成十四年度、七基約一五五〇万円、全額国庫負担となっております。

問 道路バスなど、交通手段が不便で従来対応できていなかった障害者や高齢者など交通弱者、交通不便地域の日常的な地域の交通需要に答えるために主に自治体が主体となって比較的小型で小回りのきくバスを使って運行しているコミュニティバスは、居住地域と役所などの主要施設を運行し、利用客の利便性を考え、さまざまな工夫がされています。例えば料金はワンコイン百円であるとか、高齢者に配慮し、文字が大きく見やすく表示したバス停の標識、補助ステップをつけた底床バスの運行、中心市街地の活性化を図るために商店街の中に運行ル



トを設定したり、観光スポットを結ぶなど、地域への波及効果を目的とした活用も他府県では見られます。小波津団地や、池田地域など、交通不便地域、交通空白地域等にコミュニティバスが必要であると考えますが当局の見解を伺います。
総務課長 本町の小波津団地、池田地域はバスがなくて非常に不便を来しているところですが、利用者が今後、どの程度いるのかどううか、またマイカーで各家庭が全部持っているものから、このあたりを今後十分調査等も行いながら、今後、当地域への路線の延長、新規の町内の巡回バスの運行ができないのかどうか、那覇バスへ要請もしていきたいと考えております。